

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

東京

2018 Autumn

No.113



同志社 ジャーナル



INDEX

2018 年度定時総会・評議員会レポート
2017 年度活動報告・会計報告
2018 年度活動方針・活動計画

追悼／木村昌平さん（前東京校友会会長）

同志社フェア in 浜松

大谷實前総長 特別講演会（下）
「同志社のきのう、きょう、あした」

片桐家同志社五代記（二十六）・連載コラム 今出川四季
校友訪問／エイベックス・ピックアップズ 勝股英夫さん

同志社スポーツ／女子ラグロス部
同志社・立教サッカー定期戦

首都圏・校友の店／銀座アスター

特別講演会／アララ 井上浩毅さん

告知／特別協力会員の集い、ホームカミングデー
東京クローバークラブ

すみれ亭句会

同志社東京校友会

表紙写真 同志社フェア in 浜松 グリークラブ演奏会

2018年度定時総会・評議員会レポート①

動報告・会計報告

6月28日(木)、東京サテライト・キャンパスにおいて、東京校友会の「2018年度第1回評議員会・定時総会」が開催されました。

2017年度活動報告

2017年度は東京校友会120周年に当たり様々なイベントを実行。また決算時期変更に伴い2017年1月から2018年3月まで15ヶ月の変則決算になりました。その関係で一部内容が重複する箇所があることをご承知おきください。

【4大イベントの推進】

- ① 第19回同志社東京春の集いは120周年行事の核として実施、大成功のうちに終了。
・2017年5月14日(日)
ロイヤルパークホテル
・テーマ『みんなにありがとう 未来一歩前へ』
・参加者680名、来賓30名
・当番年次：1973年、83年、93年、2003年卒
- ② 生誕の地碑前祭・特別企画・



児玉正之会長

- ・ 午宴会
・ 2018年2月12日(休日) 学士会館
・ 第1部 碑前祭参加者125名
・ 第2部 特別企画の縁日広場は休日対応の地元密着企画で地元

住民201名が参加し大盛況。

- ・ 第3部 午餐会参加者106名

③ 特別協力会員の集い

- ・ 11月22日(水) 東京サテライト・キャンパスで開催
・ 松岡学長 VISION2025の講演
・ 世界学生環境サミットの学生代表から特別アピール
・ 参加者72名

④ 第3回ゴルフ大会開催

- ・ 昨年雨天のため2018年4月10日(火)に順延され、太平洋クラブ市原コースで開催。66名が参加。

【ビジネス企画】

- ・ 特別協力会員との合同企画として年2回のセミナー実施
・ ビジネスパーソン(現役世代)と特別協力会員の交流を計画
① 7月24日(月) 特別講演会

- 講師：小西一有氏参加者64名
- ② 2月22日(木) 大谷前総長の特別講演会参加者69名(立教経済人クラブ6名特別参加)
- ③ 洛紫会継続推進(50歳以下)講師：上田 祐司氏、参加者52名
- ④ 東京校友会パンフレット発行印刷部数2千部、愛称「レング」として有意義に活用

【会員増強(財務強化)】

- ① 通常会員増強策
・ 新規入会会員「春の集い」73名、ビジネス企画3名

- ・ 会員証発行：会員Noをつけて東京ジャーナルで配布、特典拡大中、併せてHP・FBで情報発信力を高める。

② 特別協力会員増強策

- ・ 日経テレコンでリストアップ
・ 新規候補者241名に発送
・ 常任幹事人脈とビジネス企画で新規入会21名確保
・ 新紹介カードの作成・活用

- ・ 特製エンブレムの発行
・ 東京ジャーナルに特別協力会員45人の自己紹介を掲載

- ③ 企業内同志社会：成果少なし

- ④ 登録団体との協力と連携



横山徹代表幹事

- ・ 現役学生団体への祝金
・ スポーツユニオン23部、ラグビーベスト4、よさこいサークル、グリークラブ
・ 登録団体への祝金
・ 34、36、42、52年の年次会歩こう会、E S S、料飲同志社会
- ⑤ 年次会拡充推進
・ 59年会の発足：11月8日(水)「春の集い実行委員会」で活躍。
・ 平成6年会発足

【会員数の報告】

結果として、通常会員1467名、特別協力会員133名、合計1600名(前年比+43名)

【学校への協力と支援活動】

- ① 東京校友会奨学金を新設
・ 2017年は3名に支給
・ 「春の集い」で募金活動
・ (募金バザール、募金箱、同志社クッキー売上差額の合計



第1回評議員会・定時総会

2017年度活

募金額284,400円

② 同志社大学行事への協力

「ビジョン2025」に呼応

して、大学行事参加・協力

仙台5名、高梁6名参加

「春の集い」での会員拡大活

性化支援

・生誕の地碑前祭への協力で地

域交流活性化支援

・ブロック支部長会議2回開催

・ホームカミングデー多数参加

【広報活動】

① 東京ジャーナル

・編集委員を5名補充して取材

編集体制を強化

・新連載「首都圏・校友の店」

・ホームページは制作運営会社

が変わり、契約見直しは中止

③ フェイスブックでは、毎日2

つのニュースを発信

「いいね!」1687人を獲得

④ 広告掲載・東京ジャーナル3

社、HP6社(4月より7社)、

新規獲得HP2社

【事務局活動】

① 渉外活動の展開・事務局間の

連携強化・計画通り推進

② 関係者との日常連絡/諸問題

の対応・予定通り

③ 事務局決議の執行補佐・業務の

定例化、予定通り推進

④ 名簿維持管理・更なる会員増

加への対応・維持管理の現状

維持は堅持

⑤ 金銭出納および経理業務

ルールの徹底と業務の明確化

新体制も順調に機能

⑥ 備品・各種書類の保管管理充

実化・順調に推移

文責/横山徹(71年・工)

2017年度会計報告書

1. 収支予算(実績)

科目	2017年度実績			備考
	2017年度予算 (15ヶ月)A	2017年度実績 (15ヶ月)B	差異 (15ヶ月)C	
＜収入の部＞				
前期繰越金	26,062,906	26,062,906	C=B-A	
(事業収入)	10,192,000	12,684,944	2,492,944	
2017春の集い参加費	5,380,000	5,574,000	194,000	予算700名⇒実績680名
2018春の集い参加費		1,259,000	1,259,000	
春の集い広告収入	3,500,000	4,080,000	580,000	
特別協力会員の集い参加費	800,000	635,000	-165,000	予算80名⇒72名参加
碑前祭(午餐会)参加費	512,000	598,300	86,300	予算80名⇒2017=74名、2018=106名
その他の集い参加費			0	*その他行事・懇親会等の参加費を想定
物品等販売収入(雑収入より分離)		538,644	538,644	同志社クッキー等
(広報収入)	2,550,000	2,290,000	-260,000	
東京ジャーナル広告収入	2,500,000	2,200,000	-300,000	予算5社x5回⇒5回x3社+4回x1社+3回x1社
ホームページ広告収入	50,000	90,000	40,000	3/末現在6社
(基礎収入)	9,460,000	9,495,892	35,892	
通常会員年会費	5,650,000	5,015,003	-634,997	予算1550口+100万⇒3/14現在1673口
特別協力会員年会費	3,000,000	2,860,000	-140,000	予算150口⇒3/14現在132口
校友会支部助成金	800,000	1,542,292	742,292	経費支援・地域交流・会員拡大・生誕の地碑
雑収入	9,000	77,692	68,692	特別講演会の残金等
受取利息等	1,000	895	-105	預金利息
収入合計	22,202,000	24,470,826	2,268,826	
＜支出の部＞				
科目	2017年度予算	2017年度実績	差異	備考
(事業費用)	10,592,000	11,594,867	-1,002,867	
2017春の集い催事費	8,880,000	9,306,768	-426,768	収支実績:+347千円
2018春の集い催事費		91,920	-91,920	
特別協力会員の集い催事費	800,000	494,338	305,662	収支実績:+140千円
碑前祭(午餐会)催事費	512,000	607,656	-95,656	2017=263千円、2018=345千円
碑前祭(文化行事)催事費	400,000	556,621	-156,621	2017=268千円、2018=286千円
その他の集い催事費			0	*その他行事・懇親会等の催事費を想定
物品等仕入支払(雑費より分離)		537,564	-537,564	同志社クッキー等
(広報費用)	2,700,000	2,471,776	228,224	
東京ジャーナル発行配布費	2,250,000	2,125,732	124,268	5回発行
ホームページ維持管理費	450,000	346,044	103,956	
(政策経費)	2,100,000	1,628,751	471,249	
特別協力会員維持開拓費	450,000	409,590	40,410	エンブレム、特別講演会、日経テレコム、募集文書他
年次会等諸団体会員開拓費	550,000	472,661	77,339	会員証、総会祝金、H5/S59発足会
同志社大学現役団体交流費	375,000	300,000	75,000	ラグビー、スポーツユニオン総会、よさこい/グリーC
現役世代会員開拓費	280,000	37,500	242,500	デジタルビジネス研究会、洛紫会
春の集い新人参加費	320,000	328,000	-8,000	(無料招待)予算40名⇒実績41名
地域交流活性化費	125,000	81,000	44,000	錦3町会、神田祭等
(事務経費)	4,660,000	4,027,046	632,954	
通信費	500,000	478,371	21,629	
事務用品費・備品費	500,000	360,645	139,355	
会議費	750,000	674,775	75,225	
支部総会祝金(交際費)	240,000	100,136	139,864	
業務委託費	560,000	494,950	65,050	会計事務所、名簿管理等業務委託
労務費(感謝金)	900,000	828,000	72,000	事務所当番感謝金
交通費	700,000	649,860	50,140	
家賃付帯経費	110,000	81,000	29,000	賃借オフィス家賃
雑費	50,000	13,840	36,160	
振込・手数料	350,000	345,469	4,531	
(人材派遣費)	1,750,000	1,976,508	-226,508	事務スタッフ
(予備費)	400,000	52,000	348,000	立教経済人クラブ行事参加費
小計	22,202,000	21,750,948	451,052	
特別支出(120周年記念事業準備費)	4,950,000	5,092,739	-142,739	生誕の地碑周辺整備+パンフレット、東京校友会リーフレット、120周年記念イベント91、奨学金口座
支出合計	27,152,000	26,843,687	308,313	
＜収支の部＞				
収入合計 - 支出合計	-4,950,000	-2,372,861	-2,577,139	
次期繰越金	21,112,906	23,690,045		

科目	2017年度実績			備考
	2017年度予算	2017年度実績	差異	
2. 2017年度特別会計収支報告書(同志社東京校友会奨学金募金勘定)				
＜収入の部＞				
科目	2017年度予算	2017年度実績	差異	備考
前期繰越金		1,272,188		
校友による募金①		105,000		年次会等
校友による募金②		254,506		春の集い
クッキー販売による募金		188,340		@228'405個+同志社生協@100'960個
同志社グルメ販売による募金		14,800		
東京校友会120周年記念事業		2,400,000		
合計		4,234,834		
＜支出の部＞				
科目	2017年度予算	2017年度実績	差異	備考
同志社東京校友会奨学金		900,000		
熊本地震同志社ゆかりの地基金		173,342		
合計		1,073,342		
＜収支の部＞				
次期繰越金		3,161,492		

科目	2017年度実績			備考
	2017年度予算	2017年度実績	差異	
3. 財産目録(2018年3月31日現在)				
(資産)	(2015/12/31)	(2016/12/31)	(2018/3/31)	(対'17年増減)
現金	11,964	103,320	147,809	44,489
普通預金:みずほ銀行(渋谷中央)	1,253,099	1,059,182	775,928	-283,254
普通預金:みずほ銀行(銀座)	2,766,177	3,211,557	5,051,248	1,839,691
定期預金:みずほ銀行(渋谷中央)	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0
郵便貯金	2,238,894	2,239,142	2,239,162	20
郵便振替残高	8,318,327	9,449,705	5,986,455	-3,463,250
計	24,588,461	26,062,906	24,200,602	-1,862,304
普通預金:みずほ銀行(京橋)	0	1,272,188	2,650,935	1,378,747
資産合計	24,588,461	27,335,094	26,851,537	-483,557
(負債)	なし			

2018年度定時総会・評議員会レポート②

動方針・活動計画

「2018年度第1回評議員会・定時総会」では、2017年度の活動報告と2018年度の活動方針・活動計画の発表がありました。

2018年度活動計画

【活動方針】

通常会員及び特別協力会員の増強と名簿管理の徹底

①「群れる機会」づくり

・新規会員の増強と名簿拡充で、会員相互の交流機会をつくる。

・安定運営と実務体制強化継続
・第20回「春の集い」記念大会を成功させる(5月実施済み)

②大学・校友会本部との連動

・ALL DOSHISHA 2025
募金活動への積極的な協力
・東京校友会奨学金制度の継続
(関東甲信出身学生対象)

【4大イベントの推進】

①第20回同志社東京春の集い
・2018年5月27日(日)ホテルニューオータニで『語ろう、謳おう、我がが同志社』のテーマにて実施。千玄室氏(裏千家第15代前家元)の特別講演とタイムファイブのライブ
・本年度当番年1974年、84年、94年、2004年卒
・参加者630名で大成功!
②碑前祭・講演会・午餐会
・2019年2月12日(火)
・文化事業開催と午餐会開催(同窓会東京支部との共催)

③特別協力会員の集い

・11月13日(火)

・東京サテライト・キャンパス
④第4回大会ゴルフ大会開催
・2018年10月17日(水)
・太平洋クラブ市原コース

【新ビジネス企画】

①7月18日(水) 18:30

特別講演会 デジタル社会研究会 井上浩毅氏

②9月12日(水) 18:30

特別講演会 赤神諒氏(94歳、作家、上智大学教授)

③2019年2月下旬

特別講演会 講師調整中
・東京サテライト・キャンパス

【会員増強策(財務強化)】

①通常会員増強策の要として

・「春の集い」での若年層獲得
・新ビジネス企画を通じて活動
・年次会・諸団体代表者・評議員への協力要請

・企業内同志社社会の推進とPR
・ホームページ(HP)・フェイスブック(FB)で情報発信力強化

②特別協力会員増強策

・例年通り、日経テレコンで新規候補者の抽出・獲得
・特別協力会員を通じ、新会員の勧誘
・常任幹事人脈活用

・入会勧誘ツールの活用

・新入会員紹介カード・パンフレットの活用

・ビジネス企画参加者入会促進

③登録団体との協力・連携
・文化団体、スポーツユニオン

・ごに、それぞれが持つ名簿を活用。ネットワークを強化する。

・HP・FBでPR活動
・会員に情報提供実施

・具体的な提携、協力は、団体の現況を踏まえ、内容を協議。

④年次会拡充推進

・各イベント、HP、FB活用
・「春の集い」実行委員会体制強化策として

・来年度は、50年会、60年会、H7年会、H17年会

⑤新卒者歓迎イベント
・「春の集い」への無料招待

・ビジネス企画で、入会促進。

【会員推移】

・通常会員1500名、特別協力会員140名で会員合計1640名
(前年比+40名)を計画。

【学校へ積極協力と支援活動】

①同志社大学への積極的な協力
・「ALL DOSHISHA 2025」募金活動への協力
・常任幹事を軸に東京校友会独

自の募金活動体制で推進

・大学の推進方針に対し、支援
・本部・大学名簿整理への協力
(同志社カード入会促進など)
・大学主催行事への協力
(浜松・広島フェア)

②東京校友会広報機能を活用
・東京校友会奨学金制度実施
・昨年9月支給開始(関東甲信出身学生2回生・3回生、4名、1人年30万円)

・春の集い、年次会総会など校友会の諸行事で募金活動
・同志社クッキー販売差益寄付

③大学現役諸団体への支援
・例年通り、文化団体・スポーツ団体の関東地区実施の諸団体行事(試合等)で、諸団体から要請で、積極的に支援
・東京ジャーナル、HPの広報



新任の渡邊康嗣常任幹事(左・1976年・商)と宮原千佳子常任幹事(右・1973年女子大)



満員の東京サテライト・キャンパス・セミナールーム

2018年度活

【他大学交流活動】

東京の他大学校友会との交流を通じ、企画運営に生かし活動幅を広げる

- ① 立教経済人クラブと交流拡大
- ② 早稲田大学稲門会

【広報活動計画】

重要テーマ・若い世代への情報発信をどのように強化するか

- ① 魅力ある東京ジャーナル発行
- ② ホームページ、フェイスブックの充実強化

- ③ 広告獲得活動の積極展開

【事務局活動計画】

引き続き、事務局機能の強化と円満運営を継続

- ① 渉外活動の展開・事務局間の連携強化

・同志社校友会本部との連携業務の強化・大懇親会への参加
(2019年3月19日、京都)

・関東・甲信ブロック各支部との連携業務強化

- ② 到達通信の処理、関係者との日常連絡／諸問題の対応

- ③ 名簿維持管理・更なる会員増加への対応

- ④ 金銭出納および経理業務全般

- ⑤ ルールの徹底と業務の明確化
備品・各種書類の保管理充
実化

文責／横山徹(71年・工)

【追悼】木村昌平さん(前東京校友会会長) 現実に即したリーダーシップ

文 結城哲彦(元東京校友会代表幹事・58年・法)

東京校友会の会長を務められた木村昌平さんが、去る7月21日、75歳で永眠されました。

木村さんは、1967年文学部を卒業されると同時に日本警備保障(現セコム)に入社され、2002年4月に同社の代表取締役、2005年4月に取締役会長に就任され、同社の発展に多大な尽力をされました。

東京校友会との関係では、2007年1月から2010年12月までの二期(4年間)、東京校友会の会長として、当会の運営にリーダーシップを発揮していただきました。年次会を整備拡充し、それを基礎にして、2010年の「春の集い」から、実行委員会を各年次会の当番制に委ねることが可能になったのは、木村さんの指導によるものです。これが組織の強化につながり、今日、参加者600名を超える「春の集い」の基礎となったことは疑いありません。また、当時、必ずしも正常な状態

になかったスポーツユニオン東京支部と東京校友会の関係の正常化にも精力的にご尽力いただき、それが、その後、京都における校友会本部とスポーツユニオン本部の関係正常化の端緒となり、また、井上礼之校友会長(ダイキン工業会長)による新体制実現の原動力になったことも、忘れることはできません。

東京校友会会長退任後、木村さんは、校友会本部の副会長に就任され、本部と各支部の連携強化を図る具体策として、全国各支部の支部長による「支部長会議」の常設や各支部に対する本部からの「分配金」の新設などの実現に向けて、多大なご尽力をいただきました。この二つの施策により、文字通り本支部一体の体制が現実のものになりました。また、大学と校友会の関係の緊密化(全学部卒業生に対する終身会費の代理徴収の実現など)にも、大いにご尽力いただきました。当会が、大学



木村昌平前会長
(第1回同志社校友会大懇親会)

の東京オフィスの一角に事務所スペースを確保できたのも、このような大学と校友会の連携強化という背景があったからです。セコムの会長を退任された後の木村さんは、ご令室とご縁の深い栃木県の益子町に移住され、地元「益子昌平塾」を創設され、塾長として、「人としての道を求める人間塾」を主宰されておられました。今後、大所高所からいろいろなご意見やアドバイスを頂戴したいと思っていた矢先に訃報に接し、大きなショックを禁じ得ませんでした。

必ずしも長い間ではありませんでしたが、木村さんには常に現実に即した適切なご指導を賜り、本当にありがとうございます。心からご冥福をお祈りいたします。

同志社フェアin浜松が中部地区の 交流拠点で開催されました

2018年8月24日(金)、「同志社フェアin浜松」が開催されました。浜松同志社クラブ創立70周年記念としてグリークラブを招聘、その歌声が“楽器のまち”浜松に響きわたりました。

同志社ゆかりの歌「Doshisha Song」に始まり、同志社グリークラブ愛唱歌など8曲。休憩を挟んで地元の男性合唱団「オーロラ」(平均年齢73歳・45名)による「我が人生に悔いなし」など、力強い歌声による4曲。

まず、松岡敬学長の挨拶でオープニング。続いて、大きな拍手に迎えられグリークラブのフルメンバー45名が颯爽と登場しました。

地域交流イベントで、感動の鳴さい！

浜松市のシンボルの施設、アクトシティ浜松のコンサートホールで開催された「同志社グリークラブ演奏会」。会場はほぼ満席(1,000席)状態で開催。



交流レセプション佐藤優さん(左)と松岡学長

最後のステージにグリーのメンバーが再登場、グリークラブ愛唱歌「雪と花火」(4曲構成)が披露され終了。アンコールの拍手鳴り止まず、全員が再登場し、アンコール曲の最後には、90名の男性による「浜松市歌」が力強く、荘厳に歌われました。聴衆全員が感動をおぼえる中、万雷の拍手、拍手、拍手で終演。同志社グリークラブにふさわしい、一流のコンサートホールでの感動の2時間でした。

交流レセプションでグリークラブと斉唱

地域交流イベントに続き、別棟のプレスタワーに移動、交流レセプションが開催されました。全国の校友110余名が集い、おおいに歓談する中、校友である作家の佐藤優さん(85年・神院)が登場、同志社は2020年の教育改革に向けて大きく羽ばたこうとしていることや、学長との対談書籍「いま大学で勉強すること」(岩波書店刊)の意義について紹介されました。

最後は、カレッジソングをグリークラブの精鋭9名と斉唱。感動をおぼえながらの同志社チアアで名残を惜しむ中、お開き

楽器博物館の見学

となりました。

翌8月25日(土)には、浜松市が世界に誇る「浜松市楽器博物館」の見学会を実施、約20名の校友が集まりました。

ご案内は当館に詳しい浜松同志社クラブの阿部久慶会長。

「世界各地から様々な分野の楽器が揃っており、今や世界一の楽器博物館の一つに数えられている。『楽器のまち』に相応しい博物館である」との説明がありました。

世界で唯一、インドネシアの王宮音楽隊のガムラン一式を取り揃えているなど大変珍しく、多くの展示品を興味深く見ることができました。

文責/井上護(68年・工)
写真/新田博伸(77年・法)



浜松市楽器博物館見学会にも多くの校友が

IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します！

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制



明光電子 株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-9 新横浜ICビル
FAX: 045-471-2377
E-mail: info@meicodenshi.com

☎ 045-471-2223

明光電子 | 検索

代表取締役 十川 正明
(昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)

大谷 實前総長「特別講演会」～4期16年を振り返って～ 同志社のきのう、きょう、あした(下)

2月22日(木)、東京サテライト・キャンパスにて行われた大谷實前総長の「特別講演会」の連載全3回、今号で最終回です。

校友会を新体制へ

以前は、校友会内部にも対立があり、総会を開くにも運動部の学生を呼んで警備にあたってもらう状況でした。少子化に対応するためには今後、校友会の力を借りなければと思い立ち、2011年3月11日、ダイキン工業に井上礼之会長を訪ね、校友会の会長を引き受けていただけるようお願いしました。まさにその当日、東日本大震災が発生し混乱しましたが、何とか井上会長をお訪ねすることができ、井上会長に校友会の会長を引き受けていただいて、ようやく校友会の新体制ができたのでした。

小学校開設と中学の移転

同志社には30数年来の課題と

して「小学校の開設」がありました。一貫教育を掲げるためには小学校の開設が不可欠でしたので、総長就任早々に、小学校推進委員会を立ち上げ、ようやく2006年に岩倉に開校することができたのです。

一方、過密状態の今出川キャンパスの真ん中に中学がありました。同志社には各学校に自治自立の伝統がありますから、移転するにしても、中学校の反対があればできません。夜中まで中学校の教職員と団交を行いました。「中学校の移転が大学の生き残る道である」ことを訴えましたところ、校長が「投票にしましょう」と言ってくれて、投票の結果、なんと1票差で移転が決まったのです。2010年に岩倉に移転した中学校、小学校と高校は、約5千人の生徒が集う立派な学園となりました。

同志社ブランド力の強化

今、同志社には13の学校があります。少子化の時代に定員

割れもしないで、むしろ応募者が増えているのが現状です。2014年には良心館、志高館もできました。今、一大総合学園に発展した同志社はハード面の整備は完了したと宣言できます。

今後はソフト面で「良心教育」というブランド力を磨き続けることで、関西の雄としての同志社の発展があると思います。

医学部問題について

最後に何故、4期までやったのかをお話します。それは、学園の中に古くから医学部新設の課題があり、校友会も新設すべきとの意見が有力となったことに危機感を覚えたからです。私は「作ったら同志社は潰れる。いよいよ本格的な少子化の時代が来る時に、多額の費用を要する医学部を作る必要があるだろうか」と考えたのです。京都は病院も医師も多い地域です。京都の医師会は猛烈に反対しており、医学部の新設は認めるべき

ではないと考えたのでした。この判断は正しかったと思っています。

最近、驚くほど同志社出身の大企業の社長が増えてまいりました。その皆さんが評価されているのが同志社の教育理念、良心教育です。総長3期目から、「良心教育のシンポジウム」を実施して、幼稚園から大学までの先生が議論するような場を設けました。これからは、ハード面からソフト面へ、精神的な面を鍛えていかねばなりません。良心教育のブランドを失ったら、同志社はただの大学になり、今後の生き残りは困難だと考えています。

*

文責／作村満明(77年・法)



大谷實前総長を囲んで(東京サテライト・キャンパス)

和食・ご宴会



がんこ

がんこフードサービス株式会社

〒532-0026 大阪市淀川区新北野1-2-13
TEL.06-6308-2288 (代表)

宴会ご予約承り中

<http://www.gankofood.co.jp>

連載
企画

片桐家同志社五代記

その二十六

文／片桐 陽(67年・工)

同志社中学入学時の校長は、ライオンのあだ名で有名な加藤延雄先生だった。中学に入学すると、加藤先生から新島襄先生のことを教えられるのだが、この教材に先生の著書である「新島襄先生略伝」が使われた。著書の跋に先生の言葉があるので、それを紹介したい。

「本書は著者が多年同志社の学生に、新島襄先生の伝記を教授するに当って、テキストとして謄写刷を毎年造っていたのであるが、毎年謄写することの煩わしさと、素人謄写の不鮮明を避けるために、遂に印刷に附することにしたものである。

本書は同志社学生用のテキストとしてつくったもので、同志社に学ぶ学生諸君に、同志社の創立者について、そのあらましだけでも知ってもらいたいのと、新島先生の人格には学ぶべきよい点が多くあるので、殊に熱烈な愛国心や、純粹な信仰、或は愛の精神は我々の学ぶべきもので、若い生徒諸君にはよい模範として、おすすめしたいと云うところから本書を書いたのであ

る。新島襄先生の伝記は数多くあり、また大変よいものもあるが、中学生で読める簡平易なものが見あたらないので、本書を計画するに至ったのである。なお本書の出版は、同窓通信の友砂川千秋氏の好意によって実現したものである。また表紙及びカットは吹田草牧画伯の麗筆になるものである。ともに誌して両氏に深甚の謝意を表す

る。1956年晩秋加藤延雄」また当時の同志社総長の大塚節治氏が次のような序文を送って褒めておられる。

「本書は同志社中学校長加藤延雄氏が多年中学生のために講ぜられた新島伝を印刷に附したものである。略伝とは言いながら、新島先生の生涯における大切なことは殆どれなく述べてある。

少しの誇張もなく、りきみか



加藤延雄先生の著書

えったところもなく、極めて淡々とした叙述であるが、新島先生の真髓がよく画きだされている。

唯に中学生にとってよき読物であるだけでなく、高校生、更に一般人の読物としても値うちがあると思う。真正の民主主義が治く国民の生活にしみわたるべき時に当り、身を以てそれを実行した新島先生の伝が公にされたことは、まことに喜ばしきことである。世の多くの人々が愛読されんことを切望する。」

この本は、私が入学した前年の秋に作られており、これを教材として使ったのは私達の学年が最初だったと思われる。

両親共に同志社卒の同志社ファミリイだったこともあり、ことあることに同志社のイベントには参加していたが、創設者新島襄先生のことなど全く知らず、というより興味もなかった。しかしこの教材を使った加藤先生の教えは大変分かり易く、それによって初めて新島襄先生の生い立ちから同志社設立の経緯を知ることになり、初めて同志社に入学したことの素晴らしさと、改めて父のいついていた四代目と云う言葉を認識したのである。

連載
コラム

今出川四季



フリーアナウンサー
松本有加(経済学部卒)
オフィスキイワード

夢から現実へとなるきっかけをくれた言葉

ミーハー女子大生が出会ったある憧れの先輩とは!?

私は小学五年生からの夢「アナウンサーになる」ために同志社大学を選び、同志社スポーツアトム編集局に入りました。特にスポーツキャスターに憧れました。現場に足を運び取材したかったからです。入部してまもなく、衝撃的な出逢いがありました。

野球部、春の同立戦特集で、なんと現楽天イーグルスの平石洋介監督代行の記事を担当することになったのです。高校野球ファンの私は、「あのPL対横浜の平石さんとお話できるなんて!」とすっかりミーハー気分

しかしお会いした時の、「現状では満足できない。プロを目指し、自分が同志社野球部を引っ張っていきたい」という、さらなる高みを目指すひたむきな姿、力強い言葉に大きな刺激を受けたのでした。

ミーハー女子大生からプロを目指す「職人」に!?

「私も早くプロにな



地元神戸のオリックスブルーウェーブのマスコットガールとして

りたい!」生活を一転させました。学校帰りにアナウンス学校へ通い、球団のマスコットガールのアルバイトをしながら、コアつけや実況の練習の日々。そして念願の放送局のアナウンサー試験に合格。地域の方々の交流により成長させていただきながら、私の目標やステイジは変化しました。

「自分の夢を叶える」ことから、「誰かの思いを、私の声や言葉で伝えること」へと。

フリーとなった今も、地方局にいた時と同じ志で、地域の方々に役立つ情報を伝えていきます。これからさらに、地域貢献をしていきたいと考えています。

そして、平石先輩とトークショーで再会する機会があれば、また次の「目標」を伺いたいと思っています。



何が「当たる」か、誰も分からないけれど

校友 訪問

エイベックス・ピクチャーズ株式会社 代表取締役社長
勝股英夫さん 1988年(昭和63年)経済学部卒

1964年生まれ 兵庫県西宮市出身 1988年4月ソニー株式会社入社
1995年ソニーピクチャーズエンタテインメントジャパン 出向 2010年
アニプレックス代表取締役 2012年エイベックス・エンタテインメント
株式会社映像制作本部副本部長 2017年1月株式会社エイベックス(グ
ループ執行役員) 同年4月より現職



先日、学生演劇の拠点だった場所を訪ねてきました

オジサンたちでも知っている「おそ松さん」などアニメのヒット作を連発するエイベックス・ピクチャーズ。南青山のエイベックスビルの、創造力を刺激してくれるユニークさ溢れるオフィスで、「直感で決めていることは何も無い」と語る勝股社長でした。

八田先生の単位を落として留年

父が商社マンでしたから、アメリカ東部、ニューヨークの隣のニュージャーシーで8歳半まで暮らしました。当時はベトナム戦争の影響でニューヨークは治安が悪かったですね。高校は甲子園で出場校のプラカードを持つ女子高生でおなじみの西宮高校(市西)。ただ、野球部としての甲子園出場は無かったように思います。

同志社では経済学部ですが、実は一年留年での卒業です。それは、八田英二先生の「経済原論Ⅱ」の単位を落としたから。「留年になった」と父に報告したらえらく叱られました。そのあと「ところでお前、何学部や？」というので笑い話に。でも、今、その厳しかった八田先生が同志社の総長、理事長で、しかも甲子園大会でいつも挨拶される高野連の会長と聞いて、不思議なご縁を感じています。

ゼミは榊原ゼミ。先生は家系が住職さんで、この辺も同志社の自由な校風なんだろうが、先生のお寺でゼミの開講。まさに寺子屋で、京都らしいエピソードですよ。また、西宮から通学は難しいということで下宿したのが西陣。ここも実に京都らしい「路地」の残る地域でした。

アルバイトは、五条の旧花街の何軒かが外国人向けの安い宿になっていて、その朝食の世話、掃除などをやりました。いわゆる「帰国子女」で英語ができたからかもしれません。時給1200円・昼食付きは当時

としては高給だったと思います。サークルは英語研究会、ESの「英語劇セクション」。これはかなり熱心にやりました。東京に来てからも同志社ゆかりの劇団名「煉瓦少年社」を結成、社会人劇団として30歳近くまで続けることになりました。そうした中で卒論が「ハリウッド映画産業の経済的側面」。この辺も、思えば今の仕事に繋がる萌芽だったのかもしれない。

アニメの「360度ビジネス」を

就職活動は順調で、1988年にソニーに入社。新人時代の「海外営業」では、シンガポールで在庫管理。カラーテレビの数を万単位で数えてました(笑)。その後、ソニーがコロンビア映画を買収したときに、そのビジネスに関する社内公募があつた。「経営戦略グループ」に入るんですが、直接的にはこれが現在の仕事に繋がっていますね。

そこから当時の大賀典雄社長の「デイズニーのようにコロンビア映画でもアニメをやるが、日本独自のアニメもやろう」という方針に依って、新設された

ソニーピクチャーズエンタテインメントジャパンでアニメの世界に関わっていくことになりました。1995年、30歳過ぎの頃ですね。もともとアニメおたくではありませんが、スタジオジブリ作品を始め日本アニメのポテンシャルの高さを感じていましたから、制作だけでなく権利管理も含め、やりがいのある仕事に携われたと思っています。

2012年にエイベックスグループに移りました。インフラとコンテンツの融合を求めて、ということですね。エイベックスグループが音楽・アニメ・デジタル領域に注力する中、私どものエイベックス・ピクチャーズは15年に「おそ松さん」という大ヒットを出しました。これはプロデューサーが提案した一番目、二番目の企画ではなく、三番目のものだったのが私が選んだというのが自慢ですが(笑)、新作でヒットを出す、そしてそうしたヒット作を権利、配信など「360度ビジネス」でどう最大化させるか。私はこの二つをいつも考えています。

文責/谷村和典(72年・文)

全国決勝から9か月 新生女子ラクロスが始動

ボールキャリアする主将の吉田

昨年行われた大学選手権で準優勝という快挙を成し遂げたラクロス部女子。その反面決勝での2-12という結果で優勝校慶応大との差を痛感した。それから9か月。新体制となった彼女たちの「今」に迫った。

吉田組・始動

今チームの特徴は、選手層の厚さだ。全回生がメンバー入りし、学年に関係なく第一線で活躍している。飛び抜けた選手がいない分、誰かに頼ることなく自らのプレーに責任を持つことができる。これも今年のチームの特徴だと主将・吉田（文4）は語った。攻撃陣は、「みんなで作るAT」をモットーに、内海（経4）が一人一人に考える機会を与え、「全員で点を取りに行く」という意識が根付くようなチーム作りを進めてきた。一方の守備陣は、「奪うDF」を目指し、大西（社4）の厳しくも的確なアドバイスで、攻め気のあるDF陣作りを進めてきた。

初の全国制覇へ

関西で圧倒的強さを誇る関学大や、昨年大差で敗れた慶応大。二校共にゴールへの執念が強く、

個人はもちろん、組織全体での守りも強い。そのため、今年は革新的なことを行った。関東とはボールの取り方やシュートの仕方から違うため、プレーのバリエーションを増やし、新しく関東遠征も行った。また3年生を中心に、海外のプレーをチェックし、部員全員に共有した。その結果、昨年関西準優勝校の関西大に13-3と圧倒的な力の差を見せつけることができた。

今年大注目のラクロス部女子。そこで注目選手を吉田に聞いた。「まずは同期の土居（スポ4）。ゴールへのスピードが本当に早い。あとは、ドロワの福地（経2）と井田（スポ1）。2人とも取り切りがすごくいいです。最後にゴリーの竹本（スポ3）。DFがもう一人増えたみたいな。声かけも細やかで、ゴリーの仕事以上の働きをしてくれるのが彼女です」と答えてくれた。

昨年関西を代表して全国に進出してから早9か月。今年のスローガン「No Limit」が浸透しているからこそ、限界を決めずに挑戦し続けてきた。創部初の日本一を目指し、走り続ける。

辰巳琴（商・3年）

サッカー部 第71回立教大学定期戦

立教大学にPK戦で勝利！

8月18日（土）に同志社大学・立教大学サッカー部の第71回定期戦が行われた。酷暑が続いた中、当日は湿度も低く最高気温も30度に届かない絶好のコンディションでスタートした。

まずは、午前中にB戦があり非常に拮抗した試合であったが、後半にセットプレーから立教大学が先制ゴールを入れ、そのまま逃げ切り1対0で立教大学の勝利。

引き続き行われたOB戦では、両チーム年齢を感じさせぬハツラツとしたプレーで、この試合も両者一歩も譲らぬ展開でしたが結果は2対1で立教大学の勝利。

午後からは、メインのA戦が行われ結果はスコアレスドローでPK戦になり同志社大学の勝利となった。特に、A戦においては春のリーグ戦で二部二位の立教大学が好調

を持続し、ボールキープ率は同志社大学を上回っていたように思う。

今後は、立教大学の一部昇格と同志社大学の一部定着を目標に、夢の舞台「大学選手権決勝」で再会する事を誓い、非常に盛り上がった定期戦であった。

文責／小山利喜（77年・経）
写真／新田博伸（77年・法）



サッカー部 東京遠征メンバー



「草 日本橋」

- 住所：東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋 S.C. 新館 6 階
- 電話・予約：03-5542-1185 FAX：03-5542-1187
- 営業時間：11:00～22:00 (L.O. 20:30)
- 定休日：日本橋高島屋 S.C. に準ずる
- 席数：104 席 / 個室：2 室 (室料：5,000 円(税別)～)
- 宴会席数：最大 40 名様
- アクセス：JR 東京駅八重洲北口徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・東西線日本橋駅 B4 出口直結、都営地下鉄浅草線日本橋駅徒歩 4 分



【好評連載】首都圏・校友の店

5

中国名菜 銀座アスター 草 日本橋

昭和元年創業、中国料理の老舗中の老舗
「銀座アスター」が新業態にチャレンジ!

9月25日(火)、伝統をふまえた本店の味わいを残しながら、時代に合わせてカジュアルにヘルシーに新しい中国料理をご提案する「草 日本橋」店がオープンしました。



創業以来、世界に冠たる多様性を持った中国料理の価値や文化を日本に伝え続けてきた「銀座アスター」。

今回は、店舗41店、デリカショップ12店を展開する業界のリーディングカンパニーをけん引する池田勝男常務取締役(79年・商)にお話を伺いました。

日本のみならず、本場でも中国料理の多国籍化・簡便化が進む昨今、しっかりと本場に学ぶシステムを構築しながらも、日本人の繊細な感性を大事にして、「日本人の日本人による日本人のための中国料理」を発信してきた「銀座アスター」。

本場中国でも日本の食材や繊細な盛り付けを取り入れる店舗が増えており、自信を持って世界に発信していきたいと意気軒



カジュアルでヘルシーなメニュー



池田勝男常務取締役

昂です。

その「銀座アスター」が、より気ままに風雅に“をコンセプトに「草 日本橋」をオープン。メニューには、美容・健康コンシヤスメニューや、お一人でも楽しめるコースもご用意。独創的で新しい中国料理をお楽しみいただけます。

また、同社は、東洋大学発表の女性活躍インデックス(企業団体ランキング)で有名大企業を押さえて堂々第2位を獲得。

池田郁社長(池田氏夫人)のリーダーシップのもと、女性メンバーが女性らしいきめ細やかな心配りで活躍されている様子が随所に窺われ、すばらしい社風を築き上げられています。

お客様の女性比率が全店平均で70%というのも頷けます。年次会や各種会合、ご家族での会食など、個性溢れる各店舗を気軽に活用ください。

文責／青木重之(78年・経)
写真／仁藤正平(78年・商)

家族葬から社葬・お別れの会まで、
信頼の葬祭ブランド「公益社」におまかせください。



KOEKISHA

株式会社 公益社 ネットワーク 東京・横浜・大阪・兵庫・奈良
東証一部上場 燦ホールディングスグループ
東京・神奈川に11会館 大阪・兵庫・奈良に31会館

まずはお電話を。公益社 ご葬儀相談センター(24時間・365日受付)

さよならのこころ

0120-347-556

https://www.koekisha.co.jp 通話料無料・携帯電話可

首都圏ネットワーク(自社会館・営業所)

- ◆ 東京本社 (港区南青山 1-1-1 新青山ビル西館 14F)
- 公益社 用賀会館 ● 公益社 雪谷会館
- 公益社 高円寺会館 ● 公益社 高輪会館
- 公益社 明大前会館 ● 公益社 東久留米会館 (2017年8月オープン)
- 公益社 仙川会館 ● 公益社会館 たまプラーザ
- 公益社 喜多見会館 ● 公益社 日吉会館
- 公益社 田園調布会館 ● 公益社 鶴見営業所
- 青山ご葬儀相談室 ■ 鶴見営業所

※上記を中心に300ヶ所以上の葬儀場がご利用になれます。

対応地域 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)
近畿圏(大阪・兵庫・奈良)

燦ホールディングス(株)
株 公益社

社友

はりしまさのぶ
播島 幹長 (昭和33年 経済学部卒業)

燦ホールディングス(株)
株 公益社

顧問

おがよしひで
小川 佳秀 (昭和50年 経済学部卒業)

特別講演会レポート

なぜITは「創造」という名の「破壊」を実現できるのか？

去る7月18日（水）、47名の校友と立教経済人クラブからも3名のご参加をいただき、特別講演会が開催されました。

講師は、IT先端企業アララ株式会社取締役最高執行責任者の井上浩毅さん（90年・経）。「なぜITは『創造』という名の『破壊』を実現できるのか？」というテーマで刺激的なお話しをしていただきました。

現在、①他人との情報共有のための技術とコスト、②情報の保存と出し入れの技術とコスト、に大変化が起こっていて、それが起因して、すごいスピードで社会を変化させているという。

アマゾンやユーチューブ、メルカリなどは、すでに一般化しているが、さらに新しい商品やサービスが登場してくる。

すみれ亭 昭和38年会俳句会
秋高し人みな最後は一人旅

昨日は夏、そして今は秋。
いつもの夏より数等暑かった今年、それももう過ぎてしまった。
高い高い秋空。その下を独り旅する覚悟。 季語秋高し。

黒田満紀子

（選評・あかぎ俣鳥）



井上浩毅さん

たとえば、ファッションレンタルの「エアクローゼット」はすでに若い女性の間では話題になっているし、日本にはまだないが、新たな保険の形であるP2P保険やブロックチェーン技術を利用した、金融を自由にする中央なき投資プラットフォーム「Funderbeam」なども広がってくるであろう。

このような「創造的破壊」がどんどん起こってくる世界で、より多くの人々に有益で価値のあるものに導くことをビジネスとして取り組んでいきたいとの意気込みを語られました。

今後の井上さんの活躍に「乞うご期待」です。

文責／青木重之（78年・経）

「特別協力会員の集い」のご案内

日時：11月13日（火）

17：30受付

18：00～21：00

会場：同志社大学東京サテライト

キャンパス セミナー室

会費：10,000円

「同志社創立143周年記念リユニオン・同志社大学ホームカミングデー2018」のご案内

日時：11月11日（日） 10：00～

16：30

会場：同志社大学 今出川キャンパス

■リユニオン

・開会式 女子大学栄光館

10：00～

■ホームカミングデー

・松岡学長講演

・新島旧邸見学ツアー

・キャンパスツアー

・同志社校友会一日県人会

・同志社同窓会いっぶくどいぞ

・野点 など

（詳細は、ホームページ参照）

「東京クローバークラブ創立60周年記念演奏会」のご案内

日時：11月17日（土）

13：00開場 13：30開演

会場：紀尾井ホール

チケット：1,500円

文責／岩崎英夫（83年・法）

編集後記

今号の巻頭記事は、定時総会・評議員会のレポートです。

今年度の活動計画には、大学や校友会本部との連携による「ALL DOSHISHA 2025」募金活動の推進や他大学との交流といった新しいテーマも盛り込まれています。

定時総会・評議員会、同志社フェア'浜松、サッカー立教定期戦などの記事では、誌面に制約があるために、僅かの写真しか掲載できませんでしたが、ホームページとFacebookには写真をたくさんアップしています。ぜひ、こちらもご覧ください。

文責／新田博伸（77年・法）

DOSHISHA TOKYO JOURNAL
2018.October. NO.113 同志社東京校友会
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-22-7 大平ビル6階
電話：03-5579-9728
FAX：03-5579-9729
発行人／児玉正之
編集人／新田博伸
印刷／株式会社スバルグラフィック
http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp
mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875

DAIKIN

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違います。
ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。



ダイキン工業株式会社